

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ

再び「本部」革マルスト破り集団による

4.15春闘破壊攻撃を弾劾する

われわれは、八〇春闘決戦ストライキを翌日に控えた四月十五日夕刻、動労千葉ストライキ拠点・津田沼支部に動労「本部」暴力スト破り集団が二百名のヘル部隊をもって押しかけ、わが動労千葉組合員に投石、竹竿でつきかかり、鼻骨折をはじめ多数の組合員に重軽傷を負わせるという、労働組合運動にあるまじき行為に対し、満腔の怒りをもって弾劾する。この許し難い行為を、「本部」革マル反動分子が、「再建情報」で繰り返すデマ宣伝をもって正当化せんとしても、その反労働者性をおし隠すことはできない。それは、動労千葉組合員はもとより国労組合員も、「本部」暴力スト破り集団の津田沼拠点スト破壊八〇春闘破壊の意図をあからさまにした、投石と竹竿で突込むという武装襲撃の実態行為を眼前で見ているからだ。われわれは、四・一五スト破り八〇春闘破壊攻撃の反動的行為と、それを粉砕されるや権力・当局に泣きつき・タレコミで、動労千葉を破壊せんがためになりふりかまわず弾圧処分を要請する「本部」革マル反動分子の許し難い行為を暴露し弾劾するものである。

スト拠点破壊八〇春闘破壊の為に急ぎよデ  
ツチ上げられた動労「4・15津田沼集会」

「本部」革マル反動分子は、強盗に押し入り、押し入られた方が悪いと「居直り強盗の論理」よろしく、動労千葉が「動労の四・一五津田沼集会」を暴力的に破壊したと宣伝をしている。まさに盗人だけだけしいとはこのことをいうのだ！

「千葉地本再建」策動が、三・三一動労千葉佐倉支部の堂々たる結成によって増々破産に追い込まれ、それにあわせて四月十四日、「本部」直轄「津田沼特別班」結成↓四・一五津田沼集会↓四・一六津田沼「スト拠点」設置に示されること、急ぎよ「津田沼特別班」デッチ上げ、これをたてにして、動労千葉スト破壊八〇春闘破壊策動を事前を狙った意図はミエミエではないか。事実それを証明するものとして、

- ①、四月十日付第三回全国戦長会議決定を報ずる動労車新聞号外には、ストライキ拠点として津田沼・新小岩は指定されていない。
- ②、班結成にかかわった革マルスパイ分子嶋田誠、斉藤(吉)を除くほとんどの短期転勤者は、「四・一四班結成」も知らされず、四・一五に津田沼に「本部」暴力スト破壊集団二百名のヘル部隊が来ることを知らされていなかった。
- ③、四月十五日津田沼検修職場で、革マルスパイ分子嶋田誠は動労千葉組合員に対し「今日関東青年部四百がくるから場所とりをやるう」等と挑発的暴言をはいていたのだ。この事実「本部」革マル反動分子はなんと説明するのだ。

あらかじめ用意した石を投げ竹竿で突きかかる

四月十五日、津田沼支部を先頭とする動労千葉

組合員は、「本部」暴力スト破り集団による権力・当局一体となった「四・一七型暴力襲撃・スト破壊策動」に対し、津田沼支部拠点防衛、八〇春闘勝利の決意を込め、「動労千葉総決起集会」を津田沼電車区で開催した。十七時三十五分頃、各支部から結集してくる組合員のための場所を確保する為に庁舎玄関方向にデモ行進で移動した。ところが、庁舎玄関前にたむろしていた「本部」暴力スト破り集団は、突如ヘル部隊を動労千葉の梯団めがけ脇から突っこみ、後方から事前に用意した石をつぎつぎに投げ、竹竿をもって襲いかかってきたのである。これが「本部」革マル反動分子の武装襲撃の実態である。

かかる蛮行を働いていながら、いちはやく当局に「申し入れ」(弾圧、処分要請)している姿の中に「本部」革マル反動分子の犯罪性、反労働者性は明らかである。

- ①村上、佐々木某よ、君達が十六時五十分頃、電車区構外に止めてあったライトエースから竹竿を受けとり持ちこんだことをどう説明するのだ。
  - ②庁舎内にいた動労千葉組合員は、君達が、動労千葉のデモ隊へ突っこむ前に、石をかき集めていた事実を目撃している。
  - ③「投石し竹竿で突っこむ動労『本部』の連中は卑怯だ」と目撃談を語る、国労組合員に「本部」革マル反動分子はどうか説明するのだ。
- われわれは、いかなるデマ宣伝をしようとも、四・一五スト破壊襲撃行為弾劾、これを粉砕した団結・組織力をもって、「津田沼特別班」解体、一掃をさらに押し進めよう。

結成一周年記念行事を成功させよう

- \* 記念講演集会とレセプション 5月17日
- \* サークル協記念行事
- 4月30日「ソフトボール大会、5月10日「ボリリング大会
- 5月17日「園芸・美術展示会、5月14日「卓球大会
- 6月7日「囲碁・将棋大会、6月18日「野球大会
- 5月下旬〜6月上旬「組合員・家族ハイキング

よ！ 粉砕せよ！ 攻撃を組織で団結な強固な家族の組合員全